

「歩くまち・京都」マップを用いた モビリティ・マネジメント 教育の手引

「歩くまち・京都」学習検討会

はじめに

「歩くまち・京都」とは

京都市では、「歩くまち・京都」というキャッチフレーズのもと、「クルマ中心」ではなく、「人と公共交通優先のまちづくり」を推進しています。

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人一人は、

1 健康で、人と環境にやさしい、
歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

1 だれもが歩いて出かけたくなる
道路空間と公共交通を整え、
賑わいあるまちを創ります。

1 京都を訪れるすべての人が、
歩く魅力を満喫できるようにします。



モビリティ・マネジメント教育とは

モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりの移動手段や社会全体の交通流動を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育成することを目指した教育活動です。

「歩くまち・京都」マップとは



上に人が立てるほどの大きな地図で、ガリバー旅行記の主人公の気分。

「歩くまち・京都」マップを用いた授業の目標

- 地域の公共交通機関や道路網などに関する興味・関心を喚起する。
- 自らの行動を振り返り，地域の交通問題について考える。
- かしこいクルマの使い方について考え，交通手段の選択を自分の問題として再認識する。

「歩くまち・京都」マップを用いた授業の流れ

- 「歩くまち・京都」マップ上を歩き回りながら市内を眺めることで地域の公共交通機関や道路網など身近なまちについて興味・関心を高揚させます。
- 児童は主な観光地・施設に移動する際に利用する手段別（電車、バス、クルマなど）に色ブロックを積み上げ、自らの行動を振り返るとともに、地域の交通問題について考えます。
- 教員はパワーポイント等を用いて、クルマの良い点と悪い点について説明し、児童にかしいいクルマの使い方について考えさせます。
- 次に行動プラン作成を通して、市内の目的地を移動する際にどのような交通手段があるのかを知り、TPOにあわせて交通手段を学びます。
- 最後にもう一度「歩くまち・京都」マップ上に交通手段別の色ブロックを積み上げることにより、授業で学んだことを踏まえて、交通手段を選択するという自分のこととして再認識する機会にします。

「歩くまち・京都」マップ活用の利点

- まちを俯瞰することで，空間把握が可能
- 作業的活動が可能
- 目的地別の交通手段分担率が見て取れる
交通手段別の色ブロックを積み上げ，マップ上に棒グラフができる
- 情報の共有と比較が可能
ブロック積み上げ作業1回目と2回目の比較，居住地からの距離の比較など
- まちを歩いているような感覚で，体験的に授業を受けられる

「歩くまち・京都」マップ活用 例

紹介した授業での活用方法の他，様々な「歩くまち・京都」マップの使い方が想定できる。

- 「歩くまち・京都」マップを上から吊るし，プロジェクターで地図上に小学校・電車の絵や観光地の写真等を映写しながら，地域の状況を説明
- マスキングテープや消せるカラーペンなどでのバス路線等の書き込みやふせんなどでメモ貼りをしながら，地域の交通問題や交通プランの発表が可能

「歩くまち・京都」マップ
(ガリバーマップ)を使った
授業例

授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

- 児童が自由に地図の上を歩き回りながら，人が多く集まる場所を探し，発表します（発表した場所にシールを貼る）。



授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

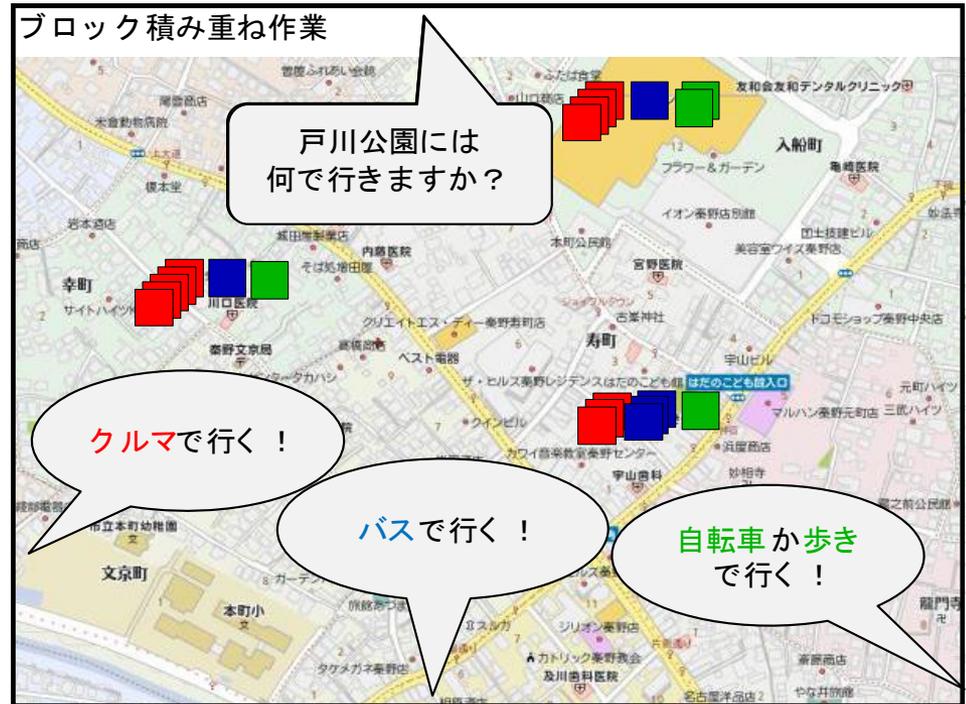
- 児童は、人が多く集まる場所についての交通手段で移動するか考え、手段ごとに色分けしたブロックを積み重ねるようになっています。



授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

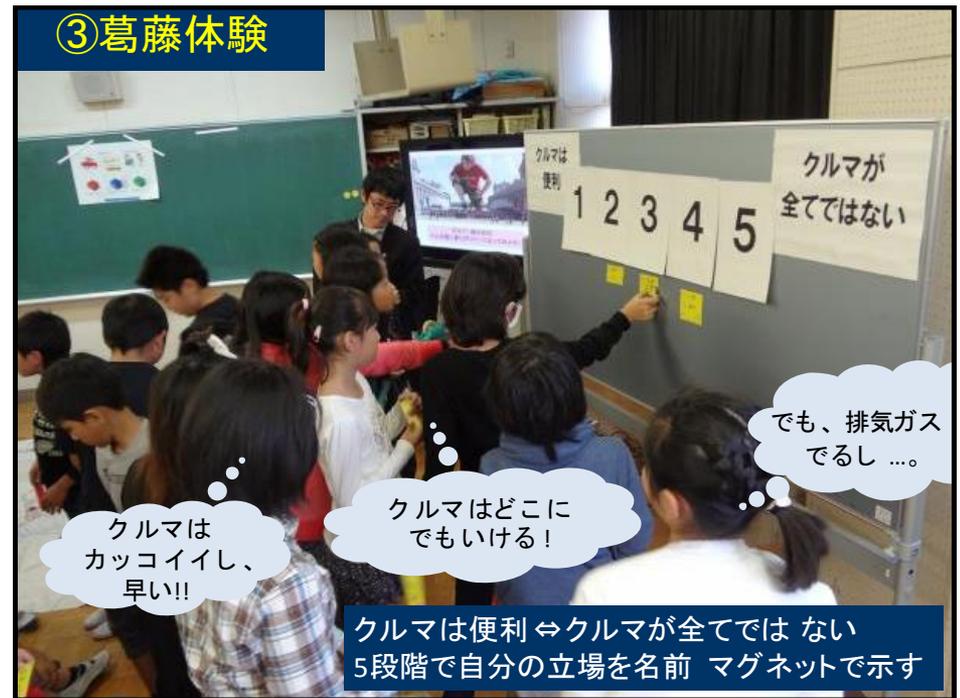
- 何色のブロック（どの交通手段）が多いか訪ねます。児童は、なぜみんなクルマ（赤色ブロック）で移動するかなどを考えます。



授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

- 「クルマは便利」と「クルマが全てではない」の間で5つ程度の段階を設け，児童に自分は1～5のどこにあてはまるか，考えさせます。



授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

- パワーポイント等を用いて、クルマに関するお金、健康、環境に関する話をクイズ形式等で学びます。



授業内容

① 「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

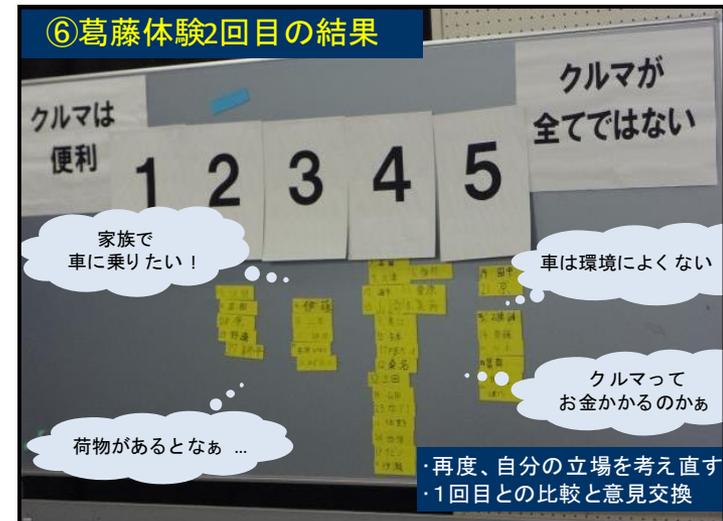
- クイズで学んだことを踏まえて、もう一度「クルマは便利」と「クルマが全てではない」の間の5段階で、どのあたりにいるかを考えさせます。



授業内容

①「歩くまち・京都」マップを使った授業と座学

- 意見を変えた児童，変えなかった児童に理由を聞き講評します。
- 授業を踏まえ，今日からできることを班で話し合っ，発表します。
- 今すぐできることとして，パワーポイントを用いて，「今すぐお家でできる『かしこいクルマの使い方』」を学びます。



授業内容

②行動プランの作成

- 作成方法は大判の図面等を使用し、担任の先生から説明します。
- 小学校を起点に市内2箇所を移動するプラン（交通手段）を作成します。



授業内容

②行動プランの作成

- 交通手段の偏りを防いだり，児童にTPOにあわせた交通手段を考えてもらうため，くじ引きを行い，グループごとに移動の条件を決めます（条件の例：おじいちゃん，おばあちゃんや小さな子どもと一緒に移動するなど）。

行動プラン記入シート

行動プランを立てて下さい

(1) 記入欄にならって行動プランの書き考え，○と○で書き描いてみて下さい。
 (2) 「-」の上に，利用する交通機関のシールを貼。
 (3) 歩いているところに，駅やバス停留名をメモして下さい。

栗野市内バス路線図

未町小学校 組 番

行動プラン記入シート

行動プランを立てて下さい

(1) 記入欄にならって行動プランの書き考え，○と○で書き描いてみて下さい。
 (2) 「-」の上に，利用する交通機関のシールを貼って下さい。
 (3) 歩いているところに，駅やバス停留名をメモして下さい。

種別	料金 (円)	到着 (分)	総計 (分)	15分以内の CO ₂ 排出量 (g)	CO ₂ (g)	15分以内の 消費カロリー (kcal)	消費カロリー (kcal)	
車(バス)	100円 + 140円 =	240分	10分 + 15分 = 25分	25分	14g × 25分 =	350g	1.8kcal/分 × 25分 =	45.0 kcal
徒歩	0円	3 + 5 + 5 = 13分	13分	13分	0g × 13分 =	0g	2.0kcal/分 × 13分 =	26.0 kcal
自転車	0円	2分	1.0分	1.0分	0g × 1.0分 =	0g	3.3kcal/分 × 1.0分 =	3.3 kcal
バス	90円 + 90円 + 100円 = 280円	170分	5 + 15 = 20分	20分	14g × 20分 =	280g	1.8kcal/分 × 20分 =	36.0 kcal
電車		3分	3分	3分	15g × 3分 =	45g	1.8kcal/分 × 3分 =	5.4 kcal
タクシー		3分	3分	3分	67g × 3分 =	201g	1.8kcal/分 × 3分 =	5.4 kcal
合計	470円	64分	64分	64分	470g	15.7 kcal		

※「15分以内」は消費カロリー150kcal以内、消費量15g以内を指します。

授業内容

②行動プランの作成

- 個人（もしくは2人1組）で行動プランを作成したら，班で話し合いを行い，各班で良いと思った案を選び発表します。



授業内容

②行動プランの作成

- もう一度「歩くまち・京都」マップを広げ、授業で学んだことを踏まえて、もう一度、交通手段を選びます。交通手段を選択するという自分のこととして再認識する機会になります。
- 最後に担任の先生から講評を行います。



授業を終えて

小学校教員へのヒアリング結果

導入として
ブロックの作業が
つかみになる

ブロックの積み重ねは
一番面白がっていた
場面

目で見えて比較するのは
子どもが好きなやり方

いつもと違う教材で、
勉強したいという意欲が
感じられた

「家の人に話した人！」
との問いに36人中33人
が挙手

<参考資料>

- 秦野市における新たな交通スリム化教育の取り組みについて
～本町小学校における「歩くまち・京都」マップを用いた授業～
- 「歩くまち・京都」マップを用いた秦野市MM教育
～ここを動かす教材をめざして～

※上記資料より写真，文章を引用